

4日 火曜

テモテⅡ



2:14 これらのことを人々に思い起こさせなさい。そして、何の益にもならず、聞いている人々を滅ぼすことになる、ことばについての論争などをしないように、神の御前で厳かに命じなさい。

2:15 あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい。

2:16 俗悪な無駄話を避けなさい。人々はそのことによってますます不敬虔になり、

2:17 その人たちの話は悪性の腫れもののように広がります。彼らの中に、ヒメナイとピレトがいます。

2:18 彼らは真理から外れてしまい、復活はずでに起こったと言って、ある人たちの信仰をくつがえしています。

2:19 しかし、神の堅固な土台は据えられていて、そこに次のような銘が刻まれています。

「主はご自分に属する者を知っておられる。」また、「主の御名を呼ぶ者はみな、不義を離れよ。」

2:20 大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。ある物は尊いことに、ある物は卑しいことに用いられます。

2:21 ですから、だれでもこれらのことから離れて自分自身をきよめるなら、その人は尊いことに用いられる器となります。すなわち、聖なるものとされ、主人にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。

2:22 あなたは若いときの情欲を避け、きよい

心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。

2:23 愚かで無知な議論は、それが争いのものであることを知っているのですから、避けなさい。

2:24 主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍耐し、

2:25 反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。

2:26 悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その罠を逃れるかもしれません。

「ことばについての論争」を避け、「努めにふさわしい」者となるために、自分をささげ、「俗悪な無駄話を避け」て、真理からはずれないようにしましょう。無駄話とは、ここでは人々を不敬虔にするような話のことです。

世の中の価値観、また成熟していない人の価値観では、論争に勝てる人は「努めにふさわしい」ように思われますがそれは違います。本当にふさわしい人は「まっすぐに説き明かす」人であり、イエスを「恥じることのない働き人」のことです。ことばで人に勝つよりも、このような純粋な者となって、神様の価値観で生きましょう。

また尊いことに用いられる器となりましょう。尊いというのは、きれいな仕事というわけではありません。また高級な仕事でもありません。」それは神にとって「役に立つもの」ということです。この世の価値観ではなく、神様の価値観で自分の働きを尊いものとしてゆきましよう。

争わず柔和でありましよう。訓戒することも大切ですが、柔和な心によって「神」が「悔い改めの心を与えて真理を悟らせてくださる」ようにしましょう。決して自分が戦ってしまわないことで

す。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

